

ニュースリリース

平成18年12月26日
新日鉄エンジニアリング株式会社

インド・TCIL 社より電気錫めっきラインを受注

新日鉄エンジニアリング株式会社(代表取締役社長 羽矢 惇)製鉄プラント事業部(事業部長 高橋 誠)は、インド Tata グループのブリキメーカー The Tinsplate Company of India Limited (通称 TCIL 社)より、電気錫めっきライン(ETL)の全体エンジニアリングと、主要機器を受注しました。

TCIL 社は、インド国内のブリキ需要の伸びに対応するため、2 基目となる本 ETL の建設を決定し、この結果、同社の生産能力は現状の年間 15 万トンから 35 万トンに増える見込みです。設備の稼働時期は 2008 年春の予定です。

商談には、欧州企業数社が参加しましたが、2004、2005 年に当社が実行した既設 ETL の改造工事や、全世界での 25 基(改造含む)の納入実績、価格競争力等が評価され、受注に至りました

当社は、中国に次ぐ市場としてインドでの営業活動を強化しており、今後ともインドでの製鉄プラントの拡販に注力していきます。

【参考 :TCIL 社概要】

- 概要 : 1920年設立。インドのブリキトップメーカー。筆頭株主は Tata Steel
(インド民間最大の鉄鋼メーカー)
- 代表者 : Bushen Raina(ブーシャン・ライナー)
- 資本金 : 約 1,412 百万インドルピー (約 3,629 百万円)
- 生産量 : 約 15 万トン (2005 年度)

(本件に関するお問合せ先)

新日鉄エンジニアリング株式会社
総務部広報室 03 - 3275 - 6030